事務事業ID 0427

⑦成果指標

シス

# 平成 24 年度 **事務事業マネジメントシート**

平成 24 年 11 月 1 日作成

	事	務事業名	業	小供*	山口地区他们	弓盆 佣 促 医 协战	(五)州(住事	□ 3	€施計画登	載事業		合	併建設計	画	登載事	業
			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									予算科目				
政策								単年度のみ		- 1	会計	款	項	目	事業	
策体系	施策名 1 8 港湾物流			「ネットワーク	の構築 											
系	基	基本事業名	0 1 港	湾の整	<b>E</b> 備促進			<b>✓</b> #	<b>4年度繰返</b> (開始 平	成9 年度~	)					
	相	拠法令										-	-	-	_	-
Ē	近	部課名	商工港湾	部港灣	3経済課 <u></u>				明間限定複数 計画期間】	年度						
	属	係 名	港湾振興	係			-27-3111	<del>↓</del>	年度		度					
事	終	 事業の概要(	   旦体的なも	さり方.		9 1753 V	116 (年度事業は全f			総投入量を記入		Εī ( \ <b>½</b> :	期間限定	垢米	佐田田の	\ Zı \
• 孝	員	17名で構成、	市漁協役員	、地域化	主民、国、県、	市の職員で構成し	、当課で事務局を	b担当	している。		П		<sup>朗</sup> 同限足 支出金	怪蚁	【年度0.	<i>(</i> 4)
	ま牛. てい		)初めに開催	し、当年	牛度の国、県の	り港湾整備事業に	こついて説明し、理	門をい	へたたくことを	総	財源		県支出金			
		議会は、永浜 対等の事務処理			前を開始する時	<b>芽期に設立された</b>	協議会であり当初	から市	が事務局とし	て開   投 業	内 訳		!方債 ·の他	1		
• 4	マ協	議会の開催に	ついて、予算	算措置			科目の記入はない			量		— f	般財源	L	-	
・ あ。		により、副市長	が会長となり	り、副会	:長は会長指名	名としており、現在	大船渡市漁業協同	司組合	長が指名され	^ <u>\</u>			計(A) 従事人数	+		0
										千円件	延	Ŀべ業	務時間			
										費			計 (B) -(A)+(B)	+		0
_	тн	生生を立	(DO)								,,,,		( ( ) ( ( ) )			
		状把握の部 務事業の目														
		段(主な活動 度実績(前年		- <del>1 /</del> /:	千新)			E	活動指標	(事務事業の活動) 名称	量を表す	指標)			単位	+
	<del>サ</del> ル		皮に打りた	_エル/	白刬/			-	7 開催回数	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11						
								$\rightarrow$	州惟巴奴					4		
今	年月	度計画(今年	度に計画し	ている	る主な活動)			7/	٢							
特	今年度計画(今年度に計画している主な活動)       1         ウ       ウ															
								E	) )対象指標	(対象の大きさを表	す指標)	)				
					)か)*人や[	<b>自然資源等</b> 赤崎地区住民団				名称					単位	立
		後後後傷盤彌= 等委員17名	事業の夫施(	こ 美 4ノぐ	O偲来関係有、	<b>小呵地区住民</b> 也	1件个国、県、川	لم ا	出席委員	数					人	
								7/ 4	F							
3	意	図(この事業	によって、	対象を	どう変えるの	)か)		,	-					+		
港	湾虫	を備に係る理解	解が深まる。					2		(対象における意図	7 o '± -1'	·				
								<b>「</b>	<u>/                                    </u>	(対象における意図 名称	4の達成	、度を表	す指標)		単位	立
	4±	田/甘士市兴	その辛回. 1	上仕の	甘士市娄仁	じの トンニ 玉 井-	ナスのか)	, +	<b>ナ</b> 委員出席3	率					%	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 港湾施設の利便性、安全性が高まる。									+							
														$\bot$		
									ζ							
(2)	総	事業費∙指標	票等の推移		年度	00年度/中华	0.4左左/日本)	05.6	- <del> </del>	20年度/日本	\	07/51	÷ (□ +=)			/ D +==\
		』国庫支出	金		単位 千 円	23年度(実績)	24年度(目標)	251	F度(目標) 	26年度(目標	宗)	2/平)	度(目標)	2	28年度(	日保)
	事	財 都道府県			千 円									I		
ΔП.	業	が内 その他			千円 千円									+		
投入	貝	一般財源	費計(A)		千 円 千 円	0	0		0		0		0	I		0
量		正規職員従事	事人数		人	1	1		1		1		1			1
		延べ業務時間 人件費計(B			時 間 千 円	40 160	40 160		40 160		40		40 160	_		40 160
	_		, スト(A)+(B)	1	千円	160	160		160		60		160			160
		€×±11+1	-25	ア	□	_	_		1		1		1	1		1
		⑤活動指	示	イウ										+		
				ָ ל	人	_	_		17		17		17	7		17
		⑥対象指	票	+					-					Ţ		
				ク サ	%	_	_		100		100		100	)		100
				,	/0			1	100	l .	100		100	/		100

#### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

## ①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

永浜・山口地区港湾整備の推進に当たり、県からの依頼により平成9年7月に設立した。規約で目的は、「国及び岩手県が実施する大船渡港永浜・山口地区港湾整備に係る漁場環境及び生活環境の保全等について協議し、円滑な整備促進に寄与すること」としている。

### ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

・平成9年3月に県、市と当時の大船渡漁協、赤崎漁協のそれぞれと締結した覚書について、漁業者からその遵守についての意見が出される場合があり、特に湾内の浚渫量や、今後の見通しなどの確認を求められることが多い。県ではその都度説明し、理解を得ながら進めている。

- ・事業費等の資料も提出され、また、会議はマスコミ等にも公開していることから、以前よりは積極的な情報公開がなされていると考える。
- ・東日本大震災津波により、永浜・山口地区港湾施設は被災し復旧工事を行っている。また、同所はガレキの二次処理場に使用されており、工事の進捗に影響 している。

## ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・地域住民等からは、継続して情報交換を行い、整備に反映してほしいとの要望が寄せられている。

2	評価の部(SEE) * 原則は事後評	『価、ただし複数年度事業は途中評価
目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<ul><li>見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>対 結びついている ⇒【理由】 ⇒</li></ul>
	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	・港湾整備に関するあらゆる意見・質問を直接話すことができる機会であり、特にも漁業関係者、地域住民にとっては 意義があるものと考えている。港湾物流のネットワークの構築の一助となっており、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<ul><li>□ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>☑ 妥当である ⇒【理由】 ⇒</li></ul>
	成する目的か?	・予算はない事業であり、県(国(直轄分)は平成20年度で終了)の整備を実施する側と漁業関係者といういわば相対する関係者同士の会議であるが、市が事務局を担当し、両者の意見調整や要望、実態把握のため必要な会議であり、当市が実施することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	・港湾整備に係り、漁業関係者、地域住民等に理解してもらうために、その代表者らと情報交換を行うものであることから妥当と考える。
有効性評	④ 成果の向上余地	<ul><li>□ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>☑ 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒</li></ul>
	成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?	港湾整備についての理解と協力をいただきながら要望等も賜る機会であり、年1回の開催であるが、妥当と考えている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<ul><li>影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>影響有 ⇒【その内容】 →</li></ul>
	響の有無とその内容は?	<ul><li>・港湾整備事業について説明する場がなくなることにより、意思疎通が不足することや要望意見を直接訴える機会がなくなること。</li></ul>
価	⑥ 類似事業との統廃合・連携	□ 他に手段がある   ○ (具体的な手段,事務事業)
	の可能性 	
	目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業と の統廃合ができるか?類似事業との	<ul><li>□ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>□ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 □</li></ul>
	連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?	関係者が一堂に会する機会はないことから。  ▼ 他に手段がない ⇒【理由】  →
	② 古世典の判げ入地	削減余地がある ⇒【理由】 → 3 改革·改善方向の部(3枚目シート)に反映
	⑦ 事業費の削減余地 	<ul><li></li></ul>
効率性評価		
	<ul><li>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地</li></ul>	▼ 削減余地がない ⇒【理由】 ラ
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	・事務的な最低限の業務時間を算出しており、削減余地はない。
	<ul><li>⑨ 受益機会・費用負担の適正 化余地</li></ul>	<ul><li>□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>☑ 公平・公正である ⇒【理由】 →</li></ul>
	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	事業当事者及び漁業、地域の住民が一堂に会しており、適正と考えている。

事務事業ID 0427	事務事業	<b>名</b> 大船渡港永浜·山口	口地区港湾整備促進協議会	開催事業
3 評価結果の総括と今後	 後の方向性(次年度	計画と予算への反映)(	(PLAN)	
(1) 1次評価者としての評	価結果 (2枚目と圏	を合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反	<b>省点)</b> 業が休止しているが、継続して実施しながら漁
① 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	業者、地域住民の意見、提	案に耳を傾け今後の整備に反映していくことは
② 有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	里安であることから、年に1度い。	<b>をは必ず実施していくよう努めなければならな</b>
③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	7	
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり		
(3) 次年度の方向性(改革	草改善案)・・・複数選	【択可 (ただし、廃止・休.	→ 止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果
┃	- — - — - — - 目的再設定	— - — - — - — - — - □ 事業統合・連携	— - — - — - ¬	左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待で きる成果について該当欄に「●」を記入する。
事業のやり方改善(	□ 有効性改善 □	□ 効率性改善 □ 2	公平性改善)	(廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する	<b>~</b>	がと 間ば老の桂却去挽の	はいて 東要字状について拾き	コスト
水浜・川口地区港湾施設 ていく。	の復旧状況を踏まえな	から、関係者の情報父撰の	)場として、事業実施について検託	10   削減   維持   増加
				成維
				果持
				K   K   X   X   X
	上で解決すべき課題	とその解決策又は特言		
			(職 名) ※原則として施策の	D主管課長 (氏 名)
4 事務事業の2次評価	結果	2次評価		
(1) 1次評価結果の客観性	生と出来具合			
①記述水準(1次評価 □ 記述不足でわか □ 一部記述不足の ▼ 記述は十分なさ	りにくい ひところがある	:段階で選択)		
②評価の客観性水準				
□ 客観性を欠いて □ 一部に客観性を		る(事務事業の問題点	、課題が認識されてない)	
		業の問題点、課題が認	識されている)	
(2) 2次評価者としての評	価結果		(3) 評価結果の根拠と理由	
① 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	適切な事務執行がなされて	(いる。
② 有効性	☑ 適切	□ 見直し余地あり		
③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	<b>∀</b>	
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり		
(4) 次年度の方向性(改革	直改善案)・・・複数選	と択可 (ただし、廃止・休.		(5) 改革・改善による期待成果
「				左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。  (廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する				コスト
港湾整備について住民、 開催し、情報提供・協議を		こ会する機会であり、震災を	からの復興状況を含め、今後も適宜	直 削減 維持 増加
				上
				成   維   ●   <b>×</b>     <b>×</b>
				K K K K K K K K K K K K K K K K K K K
5 最終評価結果 (1) 政策推進会議等での	比協車店			
(1) 以来推進去職寺(の)	1110平块			